

サポートライン 白・黄 施工手順

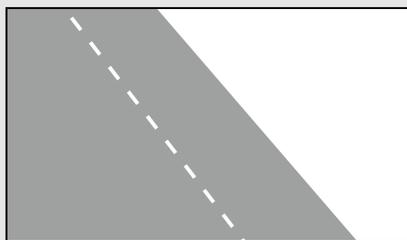
■使用場面について

- 車両のタイヤが通過する場所(交差点内や急発進・急停車する場所)の貼り付けは十分にご注意ください。
- ハンドルをきる場所での施工は避けてください。

■施工方法

1 位置決め

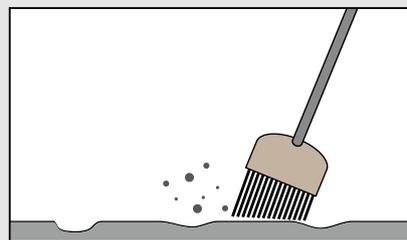
設置位置を決め、作図します。



2 清掃

ほうき等で設置面の清掃をします。

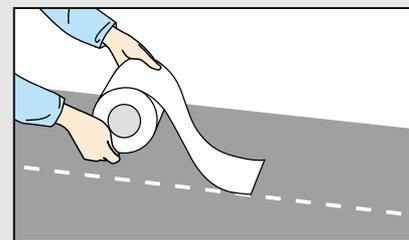
水分やゴミ・汚れ等を十分に取り除きます。
凹部分は念入りに清掃を行ってください。
設置面が濡れている場合は施工できません。



3 貼付

シートをシワにならないように真っ直ぐ貼り付けます。

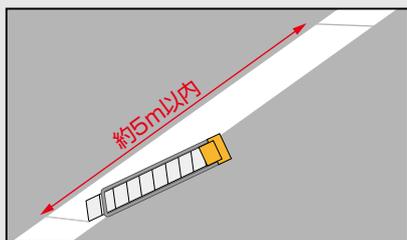
貼り付けする前に必ず裏面の注意点をご確認ください。剥がれやすい場所は薄くプライマーの塗布をお勧めします。



4 分割

万一、シートの剥れで車両のタイヤへの巻き込みを防ぐため、カッター等でシートに切り込みを入れてください。

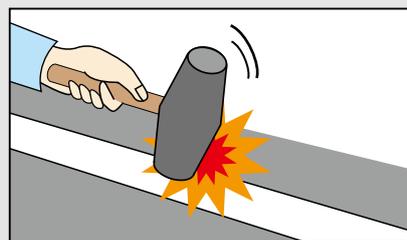
車両が通過しない箇所は約5m以内、車両が通過する箇所は約1m以内の間隔で切り込みを入れてください。



5 圧着

ゴムハンマーなどで路面の凹凸がシート表面に表れるくらい圧着してください。とくにエッジ部分は十分に圧着してください。

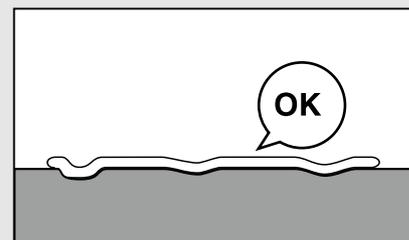
車のタイヤで圧着時はシート上でハンドルをきらないように注意してください。施工量が多い場合は2t程度のタイヤローラを使用すると作業効率が上がります。



6 施工完了

シート圧着後、設置面の凹凸部までシートが接合していることを確認し、施工完了です。

設置面とシートの間に隙間があると、浸水し剥がれる恐れがあります。

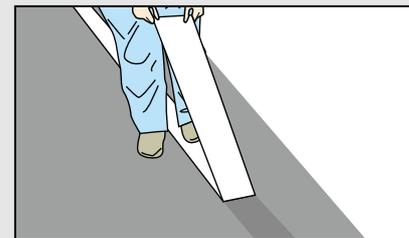


7 撤去

ゆっくり引っ張りながら剥がします。

舗装の目に入って取れない場合はバーナーで燃やし、ワイヤブラシなどで撤去します。

垂直方向に勢いよく剥がすと、のり残りする場合があります。



■施工の注意点

- 設置面に水分が残っていたり、ゴミやホコリ、油分などの汚れが付着している場合は剥がれの原因になります。十分に乾燥、清掃を行ってください。
- 施工時の外気温が低いとき(気温10℃以下)は、ガスバーナーなどで設置面の温度を40℃程度になるまで加熱してください。
- バーナー使用時は火気に十分ご注意ください。
- 設置面の適合性・接着性を十分にご確認ください。
- 設置面に凍結防止剤が残留している場合、必ず除去してください。

■施工場所の注意点

※下記の場所については原則施工を避けてください。

- 水没する場所。(雨が降ると水たまりになる場所など)
- 設置面に防水・撥水塗装がされている場所。
- 設置面に亀裂が入っている場所。
- コンクリート新設舗装から3ヶ月以内の設置面。表面のレイトランスにより接着性を損ねる原因になります。
- ロードヒーティングが施設され稼動している時。
- アスファルト打設直後の設置面。
- 開粒舗装(アスファルト)。
- 設置面の凸凹が激しい場所。(アスファルト・コンクリート路面が劣化している場所など。)
- 車のタイヤの負荷が、かかる場所。(車が急発進・急停止する、ハンドルをきる場所など)
- 公道への施工は道路管理者の許可が必要です。
- その他、設置面に関して、ご質問がございましたら、当社までお問い合わせください。

■保管方法

- 直射日光、水漏れ、高温、低温、多湿を避け、火気のない屋内で保管してください。
- 製品を変形させて保管しないでください。

■廃棄方法

- 本製品を廃棄する際は、各自治体の条例に従い、適切に処理してください。

■免責事項

- 第三者の故意、過失による不具合、天災、地盤や周辺環境に起因する製品の損傷、不具合。
- 経年劣化による汚れ、摩耗による製品の劣化や剥離。
- 万一、材料に起因する不都合が生じた場合は、材料のみ代替提供いたします。二次的損害については、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不都合による損害・損失。